

記入例（一挙防音工事を希望する場合）

① 令和元 年 〇〇 月 〇〇 日

住宅防音工事希望届

②

- 防音工事（一挙防音工事 追加防音工事 防音区画改善工事 外郭防音工事）
- 空気調和機器機能復旧工事
- 防音建具機能復旧工事 を希望します。

工事希望者の氏名 (フリガナ)	( <b>ボウエイ タロウ</b> ) <b>防衛 太郎</b> <small>防衛</small>	工事希望者が借家人の場合には、住宅に係る所有権を有する者の住宅防音工事に係る承諾が必要になりますが、承諾は得られていますか。 (はい・いいえ)
工事希望者の住所 ③	〒 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇 <b>〇〇市〇〇町〇-〇-〇</b> 〒 ▲▲▲▲ - ▲▲▲▲▲▲ <b>□□市□□町□-□-□ ▲▲アパート(〇戸分)</b>	工事希望者の住所と住宅防音工事を希望する住宅の所在地が異なる場合は、その住宅の所在地を記入してください。
連絡先	Tel <b>1 1 1 (2 2 2) 3 3 3 3</b>	
建築年月日 ④	<b>昭和 5 9 年 4 月</b> (住宅を建て替えている場合は、建て替える前の住宅の建築年月日も記入) <b>昭和 3 5 年 9 月</b>	

⑤

※以下の方がお住まいの住宅で、工事を優先的にを行うことを希望する場合は該当箇所を○で囲んでください。

**高齢者** 乳幼児、 障害者

問い合わせ先及び送付先

- 住宅防音工事希望届は下記宛先までお送りください。

北海道防衛局 企画部 防音対策課 住宅防音係  
住 所：〒060-0042  
北海道札幌市中央区大通西12丁目  
TEL：011-272-7569（課直通）

- なお、千歳防衛事務所に希望届に関する問い合わせ及び提出を行っていただくこともできます。

千歳防衛事務所  
住 所：〒066-0042  
北海道千歳市東雲町3丁目2-1  
TEL：0123-23-3145

<裏面に注意事項が記載されています>

## 〈記載要領、注意事項〉

### ①について

「住宅防音工事希望届」の提出日を記入して下さい。

### ②について

希望される工事(防音工事、空気調和機器機能復旧工事又は防音建具機能復旧工事)にチェックし、防音工事については、希望する工事内容に○を付けて下さい。

### ③について

アパート等の所有者が希望される場合は、「工事希望者の住所」の欄の下段の( )に「住宅防音工事を実施する住宅の所在地及び建物名」と「希望される戸数」を記入し、別葉(メモでかまいません。)にて建物名と部屋番号を記入して添付して下さい。

### ④について

住宅防音工事を希望する住宅の「建築年月日」を記入して下さい。

住宅を建て替えられた方は、建て替え前の住宅の「建築年月日」も記入して下さい。

今後住宅の建て替えを予定している方は、建て替え予定の年月日を下段に記入して下さい。

### ⑤について

以下の方がお住まいの住宅について、住宅防音工事を優先的にを行うことを希望し、当該事項を記入することについて差し支えがない方は、住宅防音工事希望届の、「高齢者」、「乳幼児」、「障害者」の該当箇所を○で囲んで下さい。

①高齢者(65歳以上の方)

②乳幼児(小学校就学前)

③障害者(公的証明をお持ちの方)

※この記入は、原則として住宅防音工事希望届の受付順に「住宅防音事業補助金交付申込書」を配布していますが、その中で防音工事を優先的にを行うことを希望する方を把握するためのものであり、住宅防音事業補助金交付申込書の提出時に併せて、当該事項を証明する書類の提出が必要となります。

●住宅防音実施後、増築等により防音工事済室を改造されている場合は、その後の住宅防音工事が実施できなくなる場合がありますので、事前に北海道防衛局までお問い合わせください。

●記入された内容などについて、当局職員から確認の連絡をさせて頂く場合がございますので、予めご了承下さい。

●事情により記入された内容などに変更が生じた場合には、速やかに北海道防衛局までご連絡ください。

●国の予算の都合上、住宅防音工事の実施までに相当の期間を頂く場合もありますので、予めご了承下さい。

●住宅防音工事希望届は下記宛先までお送りください。

〒060-0042

北海道札幌市中央区大通西12丁目

北海道防衛局 企画部 防音対策課 住宅防音係

＜裏面＞

住宅防音工事希望届の記入に当たってお読みください

- 1 この住宅防音工事希望届は、住宅防音工事に係る希望者を把握し、希望者に住宅防音事業補助金交付申込書を配布するため、提出していただくものです。
- 2 防音工事
  - (1) 一挙防音工事
    - 初めて行う住宅防音工事です。
    - 世帯人員＋1居室までの居室を対象としています。なお、5居室が限度です。
  - (2) 追加防音工事
    - 従前の新規防音工事(※)を実施した住宅を対象に行う住宅防音工事です。
    - ※初めて行う住宅防音工事で、2居室以内の居室を対象としていたものです。
    - 世帯人員＋1居室から、新規防音工事を実施した居室を除いた居室までを対象としています。なお、5居室が限度です。
    - 一挙防音工事及び追加防音工事を実施した住宅は対象となりません。
  - (3) 防音区画改善工事
    - バリアフリー対応住宅や身体障害者等が居住する住宅等を対象に行う住宅防音工事です。
    - 世帯人員が4人以下の場合は5居室まで、5人以上の場合は世帯人員＋1居室までの居室からこれまでに防音工事を実施した居室を除いた居室までを対象としています。
    - 一挙防音工事又は追加防音工事を実施した住宅については、各工事が完了した日から10年を経過した住宅が対象となります。
  - (4) 外郭防音工事
    - 住宅全体を対象として行う住宅防音工事です。
    - 85W E C P N L以上の区域に所在する住宅及び75W E C P N L以上85W E C P N L未満の区域に所在する初めて住宅防音工事を行う鉄筋コンクリート造の集合住宅が対象となります。
    - 85W E C P N L以上の区域に所在し、一挙防音工事又は追加防音工事を実施した住宅については、各工事が完了した日から10年を経過した住宅が対象となります。
- 3 空気調和機器機能復旧工事
  - 住宅防音工事により設置した空気調和機器の機能を復旧する工事です。
  - 住宅防音工事が完了した日から10年を経過し、その機能の全部又は一部を保持していない空気調和機器が対象となります。
- 4 防音建具機能復旧工事
  - 住宅防音工事により外部開口部に設置した防音建具の機能を復旧する工事です。
  - 住宅防音工事が完了した日から10年を経過し、その機能の全部又は一部を保持していない防音建具が対象となります。
- 5 住宅防音工事については、原則として住宅防音工事希望届の受付順に「住宅防音事業補助金交付申込書」を配布しています。  
また、住宅防音工事の助成の決定に当たって、高齢者や乳幼児、障害者の居住する住宅を優先することとしております。  
詳しくは、北海道防衛局までお問い合わせください。
- 6 住宅防音工事希望届に記載された個人情報、地方防衛局が作成する住宅防音工事希望者名簿に業務の遂行上必要最小限の範囲内で記載されます。  
なお、ご不明な点は、北海道防衛局へお問い合わせください。

